

講義ガイダンス

山田 知明

明治大学 商学部

講義概要

講義概要

- 経済政策論 A・B で何を学ぶのか？
 - 『経済政策論』という研究分野は存在しない
 - 「私は経済政策の専門家です」という人はいない
 - 経済学関連課目 (明治大学商学部で開講されているもの以外も含めて) のほぼあらゆる場面で政策に関わる議論がある
 - 例：公共経済学、財政学、金融論、国際金融・国際貿易 (=国際経済学)、産業組織論、景気変動論、社会保障論、政治経済学 etc
 - ⇒ 経済学のほぼ全てのトピックをカバーしないといけない
 - ⇒ 非現実的：講義時間 & 教員の能力
- 方針：既に開講されている課目との重複は極力避ける

講義概要 (続き)

- 経済政策分析の目的

- どのような政策が有効なのか？

- EBPM：Evidence-based Policy Making
- “政策評価”をする必要がある：科学的厳密性

- どの程度、効果があるのか：○%の GDP 上昇

- 定量的評価に耐えうる理論とデータが必要

- 望ましい政策 (=最適政策) とはどのようなものか？

- **パレート最適配分を達成**：ミクロ経済学
- 大事な概念だけど、現実的な政策の現場では使いにくい基準なので別の評価軸が必要になることが多い
- 経済政策がいつ、だれにとって必要なのか？

⇒ 誰が便益を得て誰が損失を被るのか：一貫した理論が必要

- この講義のゴール

- ミクロ経済学・マクロ経済学に基づく理論的厳密さ

+

- 実証・データ重視

経済政策論 A・B の講義範囲

- マクロ経済政策を中心に講義をする
 1. **経済政策論 A (短期)**：景気対策、財政・金融政策
 2. **経済政策論 B (長期)**：経済成長、社会保障制度、経済格差 etc
- ミクロ経済政策の例 ⇒ 公共経済学、産業政策論
 - 必要な時に適宜、ミクロ経済政策にも言及予定
- 本講義の特徴
 - 理論にウェイトを置く
 - (一応) 公務員試験の範囲にもなっている
 - ただし、公務員試験対策をするわけではない
 - 最先端の研究成果を可能な限り紹介する
 - 経済学は常に進化している

経済政策論 A・B の講義範囲 (続き)

- 理論的分析と実証的分析の両面からアプローチ
- 理論的とは？：経済モデルを理解する
 - 経済学 A・B で学んだ需要曲線・供給曲線も経済モデルの一つ
 - モデルは現実の抽象化であり検証可能
 - 検証のためにはデータに関する理解が必要
- なぜ経済政策を学ぶ必要があるのか？
 1. 政策当局者にとっては実際的问题
 2. 我々の世界を理解するため
 3. 政策当局の意図及び間違いを理解するため
 - J. ロビンソン「経済学者に騙されないため」

講義ガイダンス

テキスト・参考文献

- 特定の教科書は用いない
- マクロ経済学
 - 齊藤誠・岩本康志・太田聡一・柴田彰久『マクロ経済学』有斐閣
 - ブランシャール『ブランシャール マクロ経済学 上・下』東洋経済新報社
 - シュミット=グローエ・ウリベ・ウッドフォード『国際マクロ経済学』東洋経済新報社
 - Pablo Kurlat, *A Course in Modern Macroeconomics*.
 - Eduard Challe, *Macroeconomic Fluctuations and Policies*, The MIT Press
 - David Romer (2018) "Short-Run Fluctuations", downloadable
 - 北尾早霧・砂川武貴・山田知明『定量的マクロ経済学と数値計算』日本評論社
- 経済数学
 - 尾山大輔+安田洋祐『[改訂版] 経済学で出る数学』日本評論社

動画配信のスタイル

- 経済政策論 A はオンデマンド授業
 - 原則として、月曜日の 3 時限にあわせて動画公開予定
 - 講義動画 + 講義資料 (例えば、スライド) + 理解度テスト (Quiz)
 - PC で視聴する前提で作成しているので、スマホでは字が小さかったりするかもしれません
 - 質問はディスカッション掲示板に書き込んでください
 - 授業内容に関する質問は共有財産です
 - 個別で質問・相談したいこと (留学したい、大学院進学したいなど) があれば、個別にメールしてください
 - 単位関係の質問はすべて無視します
- 経済政策論 B は対面授業
 - 月曜日 3 時限
 - オンラインの場合、講義動画アドレスも一緒に掲載

成績評価について

- 理解度テスト (Quiz) 50%
 - 理解度テストとして Quiz に回答してもらいます
 - 最終理解度テストは期末試験の代わりになります
 - 講義視聴状況は加点対象にはなりませんが、まったく視聴していないと判断した場合には足切りとして、"T"評価にする場合があります
- レポート (50%)
 - 目的 (1)：実際にデータに触って、手を動かして分析をする
 - 目的 (2)：手を動かして計算をする
 - 目的 (3)：講義でカバーできないトピックを自分で勉強してもらおう
- Oh-o!Meiji 上の**シラバスの補足**も確認してください
 - 特に、Oh-o!Meiji のシステム関連の質問は、私ではなくサポートデスクに連絡してください
 - 特に、動画視聴状況の確認方法
 - 私に聞かれても、私もわかりません

数学について

- 苦手であることを大前提としています
- しかし、**理解しようとする努力は必要!**
- 数学を使うときには事前に説明します
 - グラフの読み方
 - 例：関数とは？

$$y = f(x)$$

- 若干の統計学に関する知識：平均、分散 etc.

経済学を学ぶ意義：おまけ

経済学が仕事につながる一例

14:28

【金融専門職志望必見 | GS経済リサーチ】

Goldman Sachs
Global Investment Research (GIR) Off-cycle Internship (Tokyo)

マクロ経済 × データ分析で
「市場を動かすリサーチ」に関われる長期インターン

応募締切：12/31 (水) 23:59
勤務地：Goldman Sachs 東京オフィス
期間：約1年 (週3-5日、学業と調整可)
学年不問

【主な業務】

- ・日本経済チームの一員としてマクロ経済データ分析
- ・経済指標 / 市場動向のモニタリング・レポート作成
- ・顧客・社内部署向けの資料作成サポート
- ・マクロモデルや独自指標の更新・管理

【求めるスキル】

- ・経済学 / 計量経済 / 統計の履修
- ・日本語ネイティブ + 英語ビジネス
- ・Excel / Python / R 等のデータ分析経験 (VBA歓迎)
- ・リサーチ・分析経験があれば強い

Goldman Sachs
Goldman Sachs

返信をポスト

14:29

ポスト

Shin Kikuchi | 菊池信之介 @ShinKikuchi

おすすめ！このインターン、マッキンゼーから東大修士に戻った時にお世話になりました。その後MITのPhDに進みました。

博士課程/PhDに進む前に、マクロ統計を見てレポートを書く、いい勉強になる気がします！MITの後輩もしていました。また、修士を経て博士ではなく、民間就職した後輩もいました。

マチコ@内定者の就活メモ @matc... 2025/12/20

【金融専門職志望必見 | GS経済リサーチ】

Goldman Sachs
Global Investment Research (GIR) Off-cycle Internship (Tokyo)

マクロ経済 × データ分析で
「市場を動かすリサーチ」に関われる長期インターン

応募締切：12/31 (水) 23:59
勤務地：Goldman Sachs 東京オフィス

さらに表示

Goldman Sachs
Goldman Sachs

返信をポスト